

糸島市教育の日フェス

「糸島市教育の日」（毎年11月1日）制定5周年を記念して、学校や家庭だけでなく、地域も含めた社会全体で教育について考えるきっかけとなるようなさまざまなイベントを開催します。

今回で4回目となる中学生自らが考え議論する「子どもサミット」をはじめ、糸島ではめったに観ることのできない狂言、「はなちゃんのみそ汁」の著者・安武信吾さんによる講演会など大人も子どもも参加できるイベントが盛りだくさんです。

日時	平成29年11月5日（日）	9:30 開場（16:00 閉場）
場所	伊都文化会館	
参加費	無料	
申し込み	一般参加は申し込み不要	
主催	糸島市教育委員会	協力 糸島市小中学校退職校長会

◆糸島市子どもサミット 2017 ～中学生の中学生による中学生のための議論～

市内各中学校の代表が、自分たちに関わる課題について議論します。

時間	14:15～15:45
場所	大ホール（先着順）
テーマ	「将来、糸島に住みたいか？～住みたくなる糸島に必要なこと～」など



◆「生きる・食べる・育てる」を考える講演会 ～秋の読書週間・図書館講演会～



「はなちゃんのみそ汁」の著者・安武信吾さんが、仕事を続けながらの子育てや家事、一人娘はなちゃんと共に歩んできた思いを語ります。

時間	10:00～11:30（9:30 開場）
場所	大ホール（先着順）

◆狂言体験とワークショップ ～あれは からすじゃ～

古典文化・狂言の上演（演目：柿山伏）後、狂言について学べるワークショップも開催します。

時間 13:00～14:00

場所 大ホール（先着順）



◆みんなで楽しむプラネタリウム ～いとしま天文台がやってくる～



一部の小学校の授業にも取り入れられているプラネタリウム。今回は、普段は体験できない大型エアドームで満天の星を観ることができます。

時間 10:30 から順次実施（15分/回）

場所 視聴覚室

その他にも

◆市内 6 中学校の紹介動画上映

◆市内 22 小中学校のポスターブース などがあります。

～毎年 11 月 1 日は、「糸島市教育の日」～

「教育の日」とは、学校・家庭・地域が一体となって教育への意識を高め、連携協力することで、家庭の教育力、地域社会全体の教育力を向上させていくことを目的として制定したものです。

「教育の日」自体は法律で定められているわけではなく、国や福岡県が取り組んでいるものでもありません。しかし、市民の教育についての理解と関心を深め、教育の充実と発展を図るため、各地で取り組まれています。県内では、本市の他、筑後市、宗像市、八女市で制定されています。

本市では、毎年 11 月 1 日前後に、教育関係のイベントや行事を集中開催するなどし、学校はもちろん、家庭、さらには地域も教育の主体と捉えた視点で啓発を行っています。

【問い合わせ先】教育委員会 担当各課

「子どもサミット」：学校教育課 332 - 2097

「講演会」：文化課（図書館）321 - 1432

「狂言」：文化課 332 - 2093

「プラネタリウム」：生涯学習課 332 - 2092

「教育の日」：学校教育課 332 - 2097

定例記者会見資料

平成29年9月28日

教育部文化課

平成29年度伊都国歴史博物館秋季特別展

『古代出雲と伊都国』展の開催について

平成29年度の伊都国歴史博物館秋季特別展として、下記のとおり古代の出雲地方と伊都国（を含む北部九州）の交流史をテーマとした特別展を開催いたします。

記

1. 名称 平成29年度伊都国歴史博物館秋季特別展『古代出雲と伊都国』
2. 主催 糸島市立伊都国歴史博物館・糸島市教育委員会
3. 共催 島根県立古代出雲歴史博物館
4. 会場 糸島市立伊都国歴史博物館 企画展示室
5. 会期 平成29年10月7日（土）～11月26日（日）
6. 開館時間 9時～17時（入館は16時30分まで）
7. 休館日 月曜日（10月9日（月・祝）は開館し10月10日（火）が休館）
8. 料金 大人300円・小中学生200円

※障害者手帳をお持ちの方（付き添いの方1名まで）無料。

9. 開催趣旨

島根県出雲地方は、「古事記」・「日本書紀」にも度々登場し、神話の舞台としても知られ、たくさんの古代史ファンを魅了している地域です。

近年、出雲地方では、荒神谷遺跡（出雲市）の銅剣358本の出土や加茂岩倉遺跡（雲南市）の銅鐸39個の発見など大量の青銅器の一括埋納遺構の発見、弥生時代の出雲王墓とされる西谷墳墓群（出雲市）の調査など、重要な考古資料の発見が相次いでいます。

また、日本海を介した交流の結節点として栄えてきた出雲は、「伊都国」をはじめとする北部九州勢力と頻りに交易・交流を行っていたことがわかってきました。

本展では、この古代史の宝庫、出雲地方の歴史・文化を紹介するとともに、出雲と伊都国を含む北部九州の両地域に共通する出土品の展示などを通して、日本海を介して繰り広げられた交流の様相を紹介いたします。

10. 主な展示品

()内は遺跡の所在地

今回の特別展には、荒神谷遺跡出土の銅剣・銅矛・銅鐸や加茂岩倉遺跡出土の銅鐸など、古代出雲の国宝9点をはじめ重要文化財、県指定文化財、市町村指定文化財の重要資料70点を含む、計150件200点余が伊都国歴史博物館で展示されます。また、国内で初めて出土した松江市田和山遺跡の硯片が、本市の三雲・井原遺跡から出土した国内2例目となった硯片と共に展示されます。

【主な展示品】

・荒神谷遺跡出土銅剣・銅矛・銅鐸(国宝/島根県出雲市) ・加茂岩倉遺跡出土銅鐸(国宝/島根県雲南市) ・志谷奥遺跡出土銅剣・銅鐸(島根県松江市) ・西谷墳墓群出土品(出雲市指定文化財ほか/島根県出雲市) ・西川津遺跡出土品(島根県松江市) ・田和山遺跡出土硯片(島根県松江市) ・隈西小田遺跡出土銅戈(重要文化財/福岡県筑紫野市) ・寺福堂遺跡出土銅戈(福岡県指定/福岡県小郡市) ・吉野ヶ里遺跡出土銅鐸(佐賀県指定/佐賀県吉野ヶ里町) ・検見谷遺跡出土銅矛(重要文化財/佐賀県みやき町) ・安永田遺跡出土銅鐸鑄型(重要文化財/佐賀県鳥栖市) ・潤地頭給遺跡出土玉作関連資料(糸島市) ・砂魚塚古墳出土品(糸島市) ・三雲・井原遺跡出土硯片(糸島市) など 計150件200点余の展示品を予定

11. 関連事業

特別講演会

著名な講師をお招きして展示会のテーマに関連した特別講演会を2回開催いたします。

(1) 10月29日(日) 14時～

講演 「倭国の形成と伊都国・古代出雲」

講師：岩本 崇 氏(島根大学法文学部准教授)

(2) 11月 5日(日) 14時～ **教育の日 関連イベント**

講演 「出雲王の埋葬とその特色 ～西谷墳墓群の様相から～」

講師：渡邊 貞幸 氏(島根大学名誉教授・出雲市弥生の森博物館名誉館長)

対談 「出雲王と伊都国王 ～弥生墳丘墓における墓上祭儀～」

渡邊 貞幸 氏 × 西谷 正 氏(伊都国歴史博物館名誉館長) の対談

※いずれも会場は伊都国歴史博物館4階研修室 定員：100名

※申込み方法：10月1日(日)から博物館で電話による申込み受付開始

《本件に関するお問合せ先》

糸島市立伊都国歴史博物館(糸島市教育委員会文化課博物館係) 河合・江崎

〒819-1582 福岡県糸島市井原916 TEL 092-322-7083 FAX 092-321-9155

主な展示品と見どころ

・銅剣・銅矛・銅鐸（国宝、荒神谷遺跡・加茂岩倉遺跡出土）

昭和59（1984）年、荒神谷遺跡（出雲市）で358本もの銅剣、銅矛16本、銅鐸6個という大量の青銅器が出土。平成8（1996）年、加茂岩倉遺跡（雲南市）では39個の銅鐸が一度に発見され、いずれの遺跡も一か所での出土数としてはわが国最多のもので、日本古代史学・考古学界を大きく揺るがす大発見となりました。

これら多量の青銅器はなぜここに埋められたのか、この謎をめぐっては、土中保管説や隠匿説、地鎮説、境界説など、諸説あり、多くの謎に包まれた遺跡です。

荒神谷遺跡出土品は、1998年に「島根県荒神谷遺跡出土品」として、加茂岩倉遺跡出土品は、2008年に「島根県加茂岩倉遺跡出土銅鐸」としてそれぞれ国宝に指定されています。



↑ 荒神谷遺跡では一か所から 358 本銅剣、銅矛 16 本、銅鐸 6 個が一度に出土



↑ 加茂岩倉遺跡で出土した 39 個の銅鐸



↑ 加茂岩倉遺跡 1 号銅鐸

・西谷墳墓群出土品（一部 出雲市指定）

西谷墳墓群（出雲市）は、山陰地方に特有の四隅突出型墳丘墓である、弥生時代の出雲平野を治めた歴代王墓と推定されています。

斜面に石を貼った巨大な墳丘と手の込んだ埋葬施設（木槨）からは、出雲王の絶大な権力がうかがえます。副葬品としては、特異な勾玉を含む豊富なガラス製品などが注目されます。また、墓上での祭祀に使用された土器には、山陰だけでなく吉備（岡山県）や丹越（福井県・富山県など）の各地の土器が多量に持ち込まれ、壮大な儀式が行われていたことがわかっています。

展示会では、この出雲王墓と伊都国王墓の出土品が一堂に会します。



↑ 歴代の出雲王の墓 西谷墳墓群



↑ 西谷3号墳出土の特殊なガラス勾玉



↑ 西谷墳墓から出土したたくさんの祭祀土器



↑ 西谷2号墳出土ガラス釦(出雲市指定)

・ 硯片(田和山遺跡出土)

田和山遺跡（松江市）は、わが国で初めて弥生時代の硯片が確認された遺跡です。硯片の出土は、この遺跡の周辺に当時、文字を識字できる人々がいた可能性を示すものとして注目されています。

硯片は、近年、伊都国の中心集落である三雲・井原遺跡でも出土しており、出雲と糸島が弥生時代に文字文化の先進地であったことを物語っています。



↑ 出雲、田和山遺跡出土の硯片



↑ 伊都国、三雲・井原遺跡出土の硯片

・ 出雲地方の玉づくり関連資料

出雲の玉づくりは全国的にも有名で、出雲のトップブランドともいえるべきものです。出雲でつくられた玉は全国各地に流通していました。糸島市の潤地頭給遺跡では、出雲産の碧玉を原料とした玉づくりがおこなわれており、出雲と糸島で密接な地域間交流があったことがうかがえます。



↑ 松江市西川津遺跡出土の玉づくり道具と石材



↑ 糸島の砂魚塚古墳から出土した出雲産の
石材をつかったアクセサリー

— 民間事業者に広く提案を求めます —
糸島市運動公園等整備のサウンディング調査を実施

市では、平成29年3月に糸島市運動公園等整備計画を策定し、平成35年度のオープンに向けて、「世代を超えて多くの市民が利用するスポーツの拠点」、「多くの市民が安心して集える交流の拠点」、「市民の命を守る防災の拠点」となる施設の整備を目指しています。

そこで、民間事業者を対象にしたサウンディング調査（対話）を実施します。

《調査の目的》

設計・施工・運営管理業務の一括発注を前提とした公募条件を整理するため、また、運動公園等の魅力向上につながるような施設整備への工夫や、施設維持管理・運営スキームの可能性を探るため、民間事業者に対して自由かつ実現可能なアイデアを広く求めます。

調査の結果は、今後策定予定の実施方針や要求水準書に活用していきます。

なお、糸島市運動公園等整備の実施方針は平成30年度、要求水準書は平成31年度に公表予定です。

サウンディング調査：民間事業者から広く意見、提案を求める市場調査のことを言い、検討の早い段階で民間事業者との対話を通じて、事業計画等に反映させる公民連携の手法。

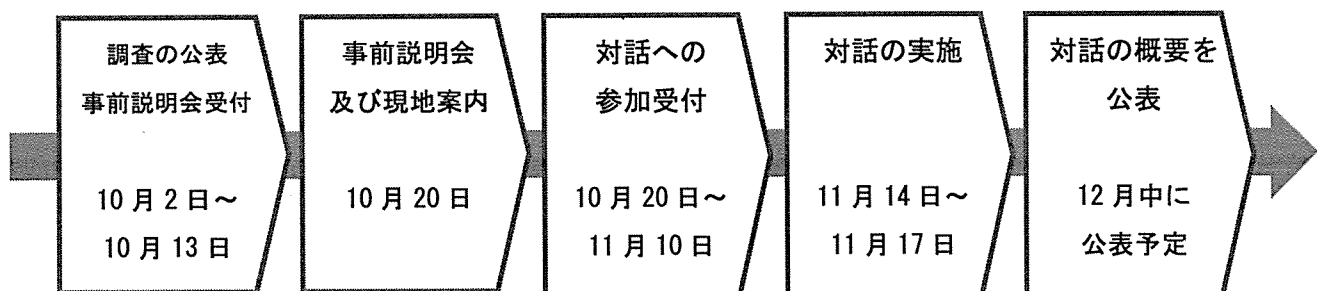
実施方針：事業方式、事業者の募集・選定スケジュール、選定方法、参加資格、提出書類、施設概要、リスク分担など、主に事業者を選定する方針を定めたもの

要求水準書：設計、施工、運営管理における業務内容、多目的体育館などの施設に求める機能、事業者提案など、整備する施設、管理運営等の水準を定めたもの（仕様書）

《参加資格》

糸島市運動公園整備事業への参加意欲があり、実施能力を有する事業者又はそれらのグループが対象

《サウンディング調査（対話）のスケジュール》



1 事前説明会、対話申込等

●事前説明会の申込

【申込期日】平成 29 年 10 月 13 日（金） 17 時まで

【申 込 先】糸島市企画部経営戦略課 keieisenryaku@city.itoshima.lg.jp

●事前説明会・現地案内の開催

施設の概要及び対話の実施方法について、事前説明会・現地案内を開催します。

※事前説明会・現地案内への参加は、対話への参加条件ではありません。

【日 時】平成 29 年 10 月 20 日（金） 13 時 30 分～14 時 30 分

【場 所】糸島市役所 11・12 号会議室（庁舎南側車庫 2 階）

●サウンディング調査（対話）参加の申込

【申込期間】平成 29 年 10 月 20 日（金）～11 月 10 日（金） 17 時まで

【申 込 先】糸島市企画部経営戦略課 keieisenryaku@city.itoshima.lg.jp

●サウンディング調査（対話）資料の提出 ※対話の参加条件となります。

【提出期日】平成 29 年 11 月 10 日（金） 17 時まで

【提 出 先】糸島市企画部経営戦略課 keieisenryaku@city.itoshima.lg.jp

2 サウンディング調査（対話）の実施（アイデア及びノウハウの保護のため、個別に行います）

【日 程】平成 29 年 11 月 14 日（火）～11 月 17 日（金）

※所要時間は、1 時間程度です。

※日時については、申込受付後、個別に調整します。

【場 所】糸島市役所内 会議室

【対 象 者】糸島市運動公園等整備事業への参加意欲があり、かつ実施能力を有する事業者又はそれらのグループ

【問い合わせ先】

企画部 経営戦略課 企画調整係 担当：吉村、大久保

TEL：323-1111（内線 1313） 332-2061（直通）

参考 糸島市運動公園等の整備について

●糸島市運動公園等整備計画(29.3.31決定)

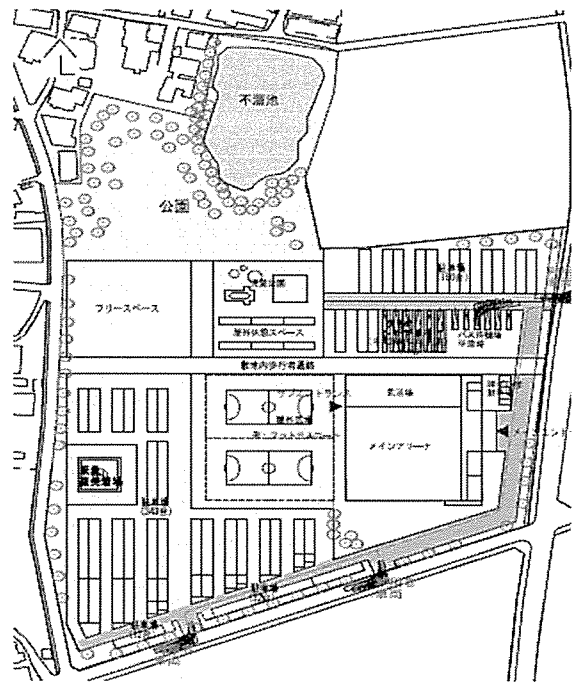
《導入機能・規模》

- ・場所：雷山運動広場及びその周辺
- ・面積：約58,000㎡
- ・施設：多目的体育館(約7,200㎡)、公園、フリースペース、駐車場等
- ・機能：運動機能、交流機能、防災機能

《整備手法・整備費用》

- ・整備手法：設計、施工、運営管理を一括発注する「DBO方式」
- ・整備費用：約49億4,000万円
- ・活用資金：合併推進債
社会資本整備総合交付金
学校施設環境改善交付金

《運動公園ゾーニングイメージ》



《整備スケジュール》

- ・平成29年度：実施方針(案)の作成
- ・平成30年度：実施方針の公表、地質調査・測量
- ・平成31年度：用地取得、要求水準書の公表、事業者の募集・選定
- ・平成32年度：運動公園等の設計
- ・平成33年度：運動公園等の整備
- ・平成34年度：運動公園等の整備
- ・平成35年度：運動公園等の供用開始

「引津校区自主運行バス」の運行を開始します

初の試みとして、志摩地域の社会福祉法人が社会貢献の一環として運営協力

現在、福吉校区、一貴山校区で運行している自主運行バスですが、10月から引津校区でも自主運行バスを運行することとなりました。引津校区には昭和バスが運行する路線バス「芥屋線」「船越線」が運行していますが、バス停から離れており路線バスの利用が困難な地域が点在しております。そこで、自主運行バスで路線バスや高速バス「いと・しま号」への乗り継ぐことにより公共交通手段の利用を可能にするとともに、イオンスーパーセンター志摩店を終点とすることにより買い物などの生活利便性の向上につながります。10月から12月までの3ヶ月間で試験運行を実施し、その中で利用者の意見を集約し、ルート・時刻表の改善を実施し、平成30年1月からの本格運行に移行する予定です。

また、初めての試みとして運転手を校区のボランティアだけでなく、志摩地域の社会福祉法人からも社会貢献の一環として派遣していただきます。

★運行内容について

- ① 運行ルート （別紙「運行ルート図」参照）
 - ・野辺福ノ浦ルート（火曜日午前、金曜日午後運行）
 - ・寺山ルート（火曜日午後、金曜日午前運行）
- ② 運行ダイヤ （別紙「時刻表」参照）

平成29年10月10日（火）から週2日、1日2往復運行。
- ③ 利用料金 無料
- ④ 運行主体 引津校区自主運行バス協議会、糸島市（地域と市との協働運行）
- ⑤ 運転手 地域ボランティア6名（平成29年9月26日時点の登録者数）
志摩地域社会福祉法人（志摩園、小富士園、玄海学園を中心に協力）
- ⑥ 使用車両 10人乗りワゴンタイプ普通自動車（車両は市で購入し、校区に無償貸与）

●出発式

開催日時	10月10日（火曜日）	8時45分から	9時00分まで
開催場所	糸島市立引津公民館（糸島市志摩御床2165番地3）		
内容	主催者・来賓挨拶、テープカット等、全体で15分程度		

糸島市では、平成29年3月に「糸島市地域公共交通網形成計画」を策定し、“分かりやすく”、“利用しやすい”公共交通ネットワークの形成を目指しています。その中で、地域との協働による公共交通不便地域の縮減に向けた取組みとして「自主運行バス」の導入促進を掲げています。自主運行バスとは、市が車両を購入して校区に貸与し、車の燃料費・保険・修繕費等を負担し、校区がボランティアの運転手と事務局員を選任し、市民協働による運行を行う事業です。

【問い合わせ先】

企画部 地域振興課 公共交通係 担当：岡崎、木村
TEL：323-1111（内線1326）
332-2062（直通）

引津校区自主運行バス 時刻表

(火曜日運行)

【野辺福ノ浦ルート】

引津校区公民館	↓	9:00	↑	11:18
福ノ浦公民館	↓	9:12	↑	11:06
野辺	↓	9:17	↑	11:01
伊都ハイランド事務所前	↓	9:19	↑	10:59
糸島漁協本初前	↓	9:20	↑	10:58
山崎集会所	↓	9:22	↑	10:56
東貝塚公民館	↓	9:27	↑	10:51
平原	↓	9:28	↑	10:50
交流プラザ志摩館	↓	9:36	↑	10:42
ふれあい	↓	9:37	↑	10:41
イオンSC志摩	↓	9:38	↑	10:40

【寺山ルート】

引津校区公民館	↓	13:30	↑	15:30
香月三組	↓	13:35	↑	15:25
寺山西組	↓	13:37	↑	15:23
寺山迫組	↓	13:39	↑	15:21
寺山公民館	↓	13:40	↑	15:20
寺山グラウンド	↓	13:41	↑	15:19
小富士相川	↓	13:47	↑	15:13
小富士道目木	↓	13:48	↑	15:12
小富士石崎	↓	13:50	↑	15:10
初バス停	↓	13:57	↑	15:03
交流プラザ志摩館	↓	13:58	↑	15:02
ふれあい	↓	13:59	↑	15:01
イオンSC志摩	↓	14:00	↑	15:00

(金曜日運行)

【寺山ルート】

引津校区公民館	↓	9:00	↑	11:00
香月三組	↓	9:05	↑	10:55
寺山西組	↓	9:07	↑	10:53
寺山迫組	↓	9:09	↑	10:51
寺山公民館	↓	9:10	↑	10:50
寺山グラウンド	↓	9:11	↑	10:49
小富士相川	↓	9:17	↑	10:43
小富士道目木	↓	9:18	↑	10:42
小富士石崎	↓	9:20	↑	10:40
初バス停	↓	9:27	↑	10:33
交流プラザ志摩館	↓	9:28	↑	10:32
ふれあい	↓	9:29	↑	10:31
イオンSC志摩	↓	9:30	↑	10:30

【野辺福ノ浦ルート】

引津校区公民館	↓	13:30	↑	15:48
福ノ浦公民館	↓	13:42	↑	15:36
野辺	↓	13:47	↑	15:31
伊都ハイランド事務所前	↓	13:49	↑	15:29
糸島漁協本初前	↓	13:50	↑	15:28
山崎集会所	↓	13:52	↑	15:26
東貝塚公民館	↓	13:57	↑	15:21
平原	↓	13:58	↑	15:20
交流プラザ志摩館	↓	14:06	↑	15:12
ふれあい	↓	14:07	↑	15:11
イオンSC志摩	↓	14:08	↑	15:10

※バスの定員は10名です。8名以上は乗車できません。
その場合は、ご予約の方を優先とさせていただきます。

予約先:引津校区自主運行バス協議会 (志摩園内)

電話:090-

(予約は前日までの受付です。ただし、火曜日運行の予約は2日前まで
をお願いします。)

いとしま号 時刻表 (交流プラザ志摩館北口)

上り 9:49 10:49 11:49

14:09 15:29 16:29

下り 9:05 9:17 9:41 10:10 10:22 10:40

13:08 13:37 14:08 14:37 15:08 15:38

◆お問い合わせ先

引津校区公民館 325-0151

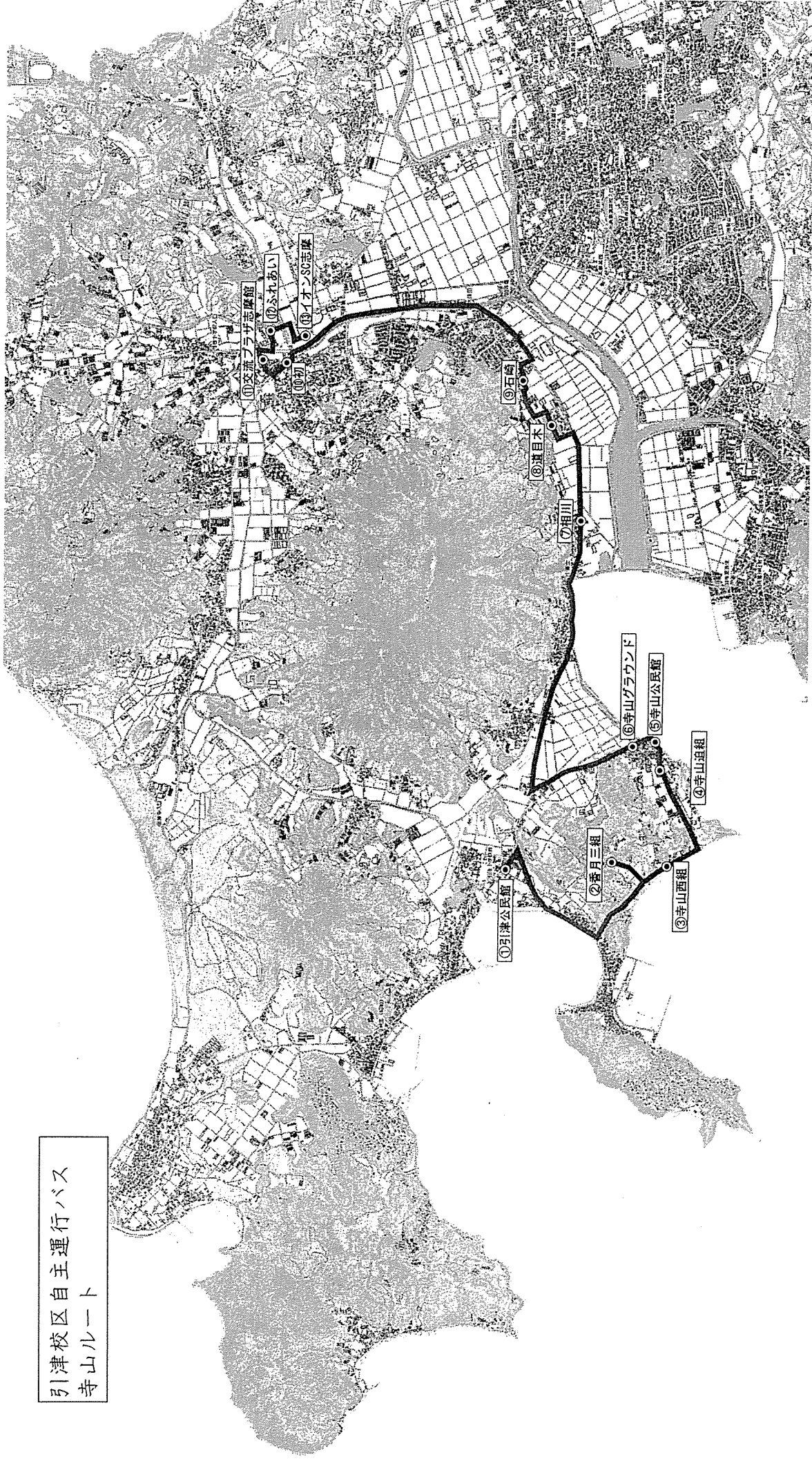
志摩園 090-

糸島市地域振興課 332-2062

引津校区自主運行バス
野辺福の浦ルート



引津校区自主運行バス
寺山ルート



10月8日の「九大祭」に合わせて
中学生向けに九州大学の先生が授業を行います！

定例記者会見資料
平成29年9月28日
企画部地域振興課

「中学生のための九大模擬授業」を 九州大学伊都キャンパスで開催

■概要

市内の中学生に九州大学や勉強することに興味を持ってもらうため、九州大学の研究者が最新の研究テーマについて分かりやすく授業します。

生徒たちは、日頃、九大生が学んでいる大学の教室で、九州大学の先生から、中学校の授業とは一味違った生の授業を受けることができ、大学への憧れや将来の夢を持つきっかけになるとともに、これからの進路を考える上で有意義な時間となります。

また、「九大祭（大学祭）」の開催に合わせて実施することで、授業終了後に、大学内を散策し、模擬店やサークル発表などの大学祭の雰囲気を楽しめます。

■模擬授業・講師

○1 限目（9時40分～） 「星と惑星の誕生」

講師：理学研究院准教授 町田 正博 先生

○2 限目（10時45分～） 「広告って必要!? 伝わることと社会」

講師：芸術工学研究院准教授 齋藤 俊文 先生

■日時等

○日時：10月8日（日曜日） 9時30分から11時45分

○会場：九州大学伊都キャンパス総合学習プラザ2階大講義室

○参加費：無料

○対象者：糸島市内に住む中学生

（保護者や兄弟姉妹の参加も可。ただし、申込多数の場合、座席は中学生に優先的に割り振ります。）

○定員：100人（先着順）

○応募：電話又は電子メールで10月4日までに下記問い合わせ先まで氏名、性別、住所、電話番号、中学校名、学年、保護者等参加の有無、来場方法をご連絡ください。



昨年度の様子

■想定する事業効果

○将来の進路を考え始める中学生が、将来の夢を持ち、九州大学を身近に感じ、九州大学を目指すなど、大学進学を意識することが期待できる。

○市内の子どもが九州大学を目指すという教育イメージの向上につながる。

○子育て世代の方々に、九州大学のある都市だと認識してもらい、移住・定住につながる。

【問い合わせ先】

企画部 地域振興課定住・学研都市係 担当：大鶴・田中
TEL：332-2062（直通） / （内線：1324）
メール：chiikishinko@city.itoshima.lg.jp